

第 2 次春日井市生涯学習推進計画 平成30年度進捗状況報告書

令和元年 7 月

春日井市文化スポーツ部文化・生涯学習課

目 次

第2次生涯学習推進計画の概要	1
計画策定の目的	2
基本理念	2
基本目標	3
施策の体系	4
平成30年度 推進計画進捗状況	10
基本目標1 学びにつながるきっかけづくり	12
施策1-1 生涯学習に関する情報提供の充実	12
施策1-2 学習活動の多様なきっかけの提供	14
基本目標2 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実	17
施策2-1 ライフステージに応じた学習機会の充実	17
施策2-2 現代的・社会的課題やニーズに対応した学習機会の充実	25
施策2-3 生涯スポーツの振興	33
施策2-4 文化芸術の振興	37
基本目標3 学んだ成果を生かせる仕組みづくり	43
施策3-1 地域の担い手となる人材の発掘及び育成	43
施策3-2 学習成果を生かす機会の充実	46
施策3-3 学習成果を生かしたまちづくりの推進	48
基本目標4 学びを豊かにする環境づくり	51
施策4-1 身近な生涯学習関連施設の充実	51
施策4-2 自主的な学習活動への支援	54
施策4-3 関係機関とのネットワークの構築	57
◆推進計画全体（計画期間1年目）の評価	59

第 2 次生涯学習推進計画の概要

計画策定の目的

生涯学習を通じた暮らしやすいまちを目指し、文化及び生涯スポーツの更なる振興、これまで生涯学習に取り組んでこなかった層に対する働きかけの強化、計画の進行管理及び着実な実行を推進するための数値目標の設定を盛り込み、本市における生涯学習を推進するための指針となる計画として「第2次春日井市生涯学習推進計画」を策定しました。

基本理念

市民一人ひとりが心豊かな生活を送るためには、学びを通じて一人ひとりの潜在能力を最大限伸ばすとともに、学習活動を通じた地域活動の推進、現代的・社会的な課題に対応した学習などの推進を図っていく必要があります。これを踏まえ、本計画の基本理念を次のとおりとします。

『一人ひとりの学びが地域の絆と

未来を創り出すまちづくり』

基本目標

基本理念である「一人ひとりの学びが地域の絆と未来を創り出すまちづくり」を実現するため、4つの基本目標を次のとおり定め、総合的な取組を推進します。

(1) 学びにつながるきっかけづくり

学習活動の実践へとつながるよう、さまざまな機会・手法を活用して情報を発信し、学習のきっかけづくりにつなげます。

(2) 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

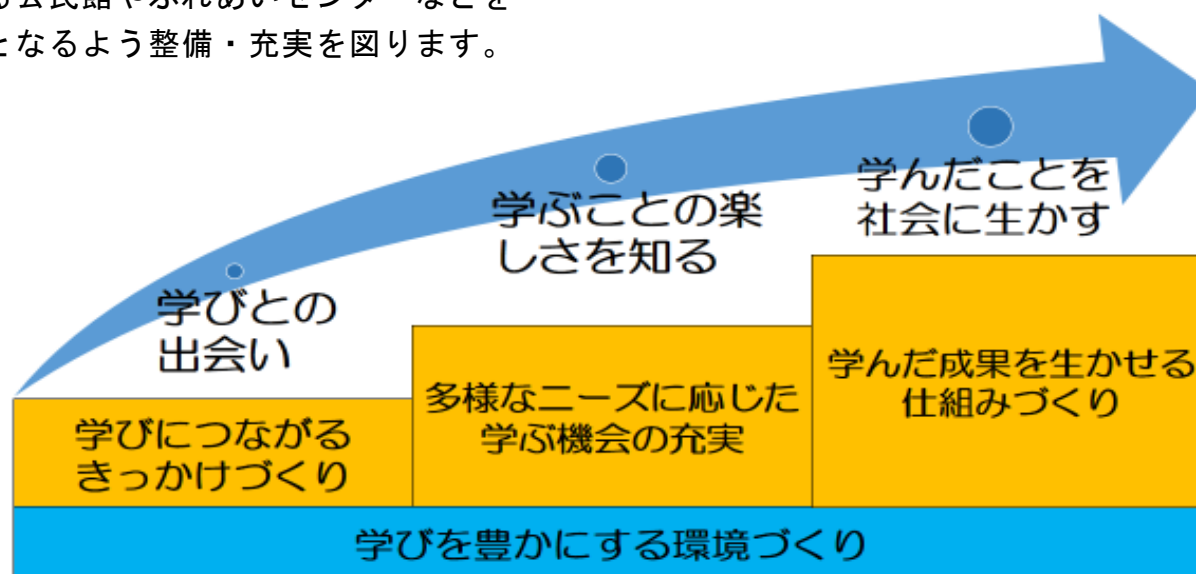
市民ニーズに応じた多様な分野の学習機会を設け、だれもが、いつでも、学ぶことができるよう充実を図ります。

(3) 学んだ成果を生かせる仕組みづくり

市民が学習を通じて身につけた知識・技能などの成果をまちづくりに生かすため、学習成果を発表する機会の確保や、学習成果を地域で広く生かせるよう支援します。

(4) 学びを豊かにする環境づくり

市民の身近な学習や活動の場である公民館やふれあいセンターなどを市民にとって利用しやすい学習施設となるよう整備・充実を図ります。



施策の体系

基本目標 1 学びにつながるきっかけづくり

1-1 生涯学習に関する情報提供の充実

学ぶことの楽しさや大切さに興味・関心を持ってもらうため、講座開催や生涯学習活動団体の情報をさまざまな機会や手法を活用して発信します。

〈具体的な取組〉

(1) 多様な媒体を活用した情報の提供

(2) 生涯学習活動団体の情報の提供

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
生涯学習情報誌「まなびや選科」の認知度	32.3%	37.0%	42.0%
生涯学習情報サイト「まなびや選科」の認知度	32.3%	37.0%	42.0%

1-2 学習活動の多様なきっかけの提供

一人ひとりが自分に合った学習方法や学習する場を選ぶことができるよう、学習活動へのきっかけづくりを行い、学習継続の動機付けとなるような取組を推進します。

〈具体的な取組〉

(1) 相談窓口機能の充実

(2) 生涯学習のきっかけとなる講座の開催

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
生涯学習に取り組んでいる人の割合	65.0%	70.0%	75.0%

基本目標 2 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

2-1 ライフステージに応じた学習機会の充実

人々が生涯にわたって充実した生活を送れるよう、ライフステージによって変化する学習課題に応じた、きめ細かな学習が主体的に行える学習機会の提供を推進します。

〈具体的な取組〉

- (1) 乳幼児期における学習機会の充実
- (3) 成人期における学習機会の充実

- (2) 青少年期における学習機会の充実
- (4) 高齢期における学習機会の充実

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
親子で参加する講座の延受講者数	5,733人	5,900人	6,100人
ふれあい教育セミナーに取り組む小中学校等数	67セミナー	69セミナー	71セミナー
かすがい熟年大学の延受講者数	7,159人	7,500人	7,900人

2-2 現代的・社会的課題やニーズに対応した学習機会の充実

市民の学習ニーズも多様化し、現代社会には多様な課題があることから、現代的・社会的課題への対応を図るための講座や市民ニーズに応じた講座を開催します。

〈具体的な取組〉

- (1) 夜間や休日に開催する講座の充実
- (3) 就労支援や職業能力を高める学習機会の充実
- (5) 環境に関する学習機会の充実
- (7) 男女共同参画に関する学習機会の充実

- (2) 障がいのある人が学べる機会の充実
- (4) 情報化・国際化社会に対応した学習機会の充実
- (6) 健康に関する学習機会の充実
- (8) 市民ニーズの的確な把握

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
公民館及びふれあいセンターなどで開催する講座の延受講者数	26,361人	27,500人	29,000人

2-3 生涯スポーツの振興

全ての市民が生涯にわたって、スポーツに取り組むことで、健やかに過ごし、地域における人々の交流が促進されるよう総合的な取組を進めます。

〈具体的な取組〉

(1) 多目的総合運動広場の整備

(2) コミュニティスポーツの推進

(3) スポーツに関する学習機会の充実

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
スポーツ教室の参加人数	68,266人	70,500人	73,000人

2-4 文化芸術の振興

文化芸術を鑑賞したり、体験したりする学習機会の充実を図るとともに、歴史や文化が後世に受け継がれていくための学習機会の充実を図ります。

〈具体的な取組〉

(1) 文化芸術の鑑賞機会の提供

(2) 文化芸術に関する学習機会の充実

(3) 特色ある文化の推進

(4) 郷土文化の継承及び文化財保護意識の啓発

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
文化芸術活動をしている人の割合	14.5%	20.0%	25.0%

基本目標 3 学んだ成果を生かせる仕組みづくり

3-1 地域の担い手となる人材の発掘及び育成

地域における学習活動の活発化を図り、専門的知識を持つリーダーを始め、地域や団体活動のリーダー、ボランティアとなる人材の育成と新たな人材の発掘を図ります。

〈具体的な取組〉

(1) 指導者となりうる人材の育成

(2) ボランティアの育成

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
生涯学習情報サイトに登録されている講師者数	232人	260人	290人

3-2 学習成果を生かす機会の充実

市民が学習の成果を社会に還元できるよう、学習活動を通じて身につけた知識、技術、経験などの成果を発表する機会や成果を生かせる場の充実を図ります。

〈具体的な取組〉

(1) 学習成果を発表する機会の提供

(2) 市民自らが企画した講座の開催

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
公民館まっりの参加団体数	153団体	170団体	185団体

3－3 学習成果を生かしたまちづくりの推進

地域課題や生活課題について、市民自らが解決に取り組んでいけるような学習機会を提供するとともに、学習を通じて得た成果を、まちづくりに生かすことを推進します。

〈具体的な取組〉

- (1) 防犯、防災など安全と安心に関する学習機会の充実 (2) 住民主体による地域課題の解決に向けた学習の支援

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
学習活動を通じて身に付けた知識・技能を、地域でのまちづくりや地域の活性化のために生かしたい人の割合	7.2%	9.5%	12.0%

基本目標4 学びを豊かにする環境づくり

4－1 身近な生涯学習関連施設の充実

公民館を始めとした生涯学習関連施設が、市民にとって利用しやすい学習の場となるよう、利便性の向上や適切な維持管理による効率的な運営を目指します。

〈具体的な取組〉

- (1) 市民が利用しやすい施設の運営 (2) 施設の有効活用
(3) 施設の適切な維持管理

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
公民館及びふれあいセンターなどの利用者数	545,177人	548,500人	552,000人

4-2 自主的な学習活動への支援

市民の自主的・自発的な学習活動を活性化するため、豊富な資料や情報の収集やＩＣＴの有効活用、サークルやグループへの支援を行います。

〈具体的な取組〉

(1) 図書館・図書室の充実

(2) ＩＣＴを活用した学習の推進

(3) 生涯学習活動団体への活動支援

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
生涯学習活動団体の会員数	14,868人	15,000人	15,000人

4-3 関係機関とのネットワークの構築

市民の学習ニーズに対応し、多様な学習活動を総合的に推進するため、市民、地域、大学などの高等教育機関、民間団体、企業等とのネットワークの強化を図ります。

〈具体的な取組〉

(1) 大学や企業などとの連携強化

(2) 近隣自治体との連携強化

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
大学連携講座の講座数	17講座	20講座	24講座

平成30年度 推進計画進捗状況

《凡例》

施策２－１ ライフステージに応じた学ぶ機会の充実

計画に掲載している具体的な取り組みとその目的

(1) 乳幼児期における学習機会の充実（乳幼児が健やかに育める学習機会や子育て家庭を支援するような学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
乳幼児を対象とした講座 【公民館・ふれあいセンター】※1	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。	(1) 公民館 実施数：13講座 実施講座：親子で講座、 受講者数：2,520人 (2) ふれあいセン	親子の絆を深める子守唄講座	【A】

事業名：第2次推進計画掲載事業名

【 】内は担当課名・実施施設名

事業概要：各事業の概要説明

事業実施の成果・特記事項：

事業の実施により得られた成果、改善・工夫した事項について記載。

実施状況：計画に記載している事業について実施状況を3段階で記載。

A：実施することができた

B：実施に向けて検討した。

C：実施できなかった

※1 公民館・ふれあいセンター
中央公民館、知多公民館、鷹来公民館、坂下公民館、東部公民館、
味美ふれあいセンター、高蔵寺ふれあいセンター、南部ふれあいセンター、
西部ふれあいセンター

成果指標と目標値

成果指標と目標値：計画に記載している成果指標と目標値、当該年度実績について記載。

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度
親子で参加する講座の延受講者数（公民館、ふれあいセンター、青年の家、レディヤンかすがい）	5,733人	5,900人	6,100人	6,466人

施策の評価

施策の評価：当該年度の実施状況についてまとめ、施策ごとの評価を記載。

実施状況（掲載事業数 23）		評価
A 実施することができた	22	子どもや親子を対象とした講座が好評であることが見て取れる。 忙しく働く世代は、子どもを通じてでないと公民館等を利用することがあまりないと思われるので、次の世代の施設利用者を開拓する意味でも、力を入れることが望ましい。
B 実施に向け検討している	1	
C 実施できなかった	0	

基本目標 1 学びにつながるきっかけづくり

施策 1-1 生涯学習に関する情報提供の充実

- (1) 多様な媒体を活用した情報の提供（生涯学習に関する情報を様々な機会や手法を活用して適時適切に発信し、学習のきっかけづくりにつなげる。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
生涯学習情報サイト 「まなびや選科」 【文化・生涯学習課】	生涯学習情報をインターネット上で提供するシステムを活用し、公民館等で開催する講座やイベント情報を提供する。	アクセス件数：41,593件 団体登録件数：153団体（うち新規登録34団体） 講師登録件数：271人（うち新規登録29人）	生涯学習活動を行う団体、講師、講座等の情報を発信し、インターネットを通じて情報提供できた。	【A】
生涯学習情報誌「まなびや選科」 【文化・生涯学習課】	公民館等で開催を予定しているさまざまな講座やイベント情報を掲載した生涯学習情報誌を発行する。	発行回数：年8回（隔月6回、市民講座特集号2回） 仕 様：A4 発行部数：6月号～12月号 各2,000部 2月号～4月号 各1,500部 （残部数調査を行い、2,000部から1500部に減らした。） 主な内容：講座情報、イベント・展示情報 配 布 先：市内公共施設、大垣共立銀行、中部大学 等 （設置場所としてアスティ高蔵寺を追加。）	公民館・ふれあいセンター等で実施する講座等の情報を発信できた。 受講者へのアンケートでは、情報源として広報春日井が圧倒的多数を占めており、情報誌のあり方について検討する必要がある。	【A】
さまざまな情報媒体を活用した情報の発信 【広報広聴課】	ツイッター、フェイスブックなどのSNSやスマートフォンアプリを活用して、講座をはじめとした生涯学習に関する情報の発信を推進する。	市民一人ひとりの求める情報を的確に提供できるよう、春日井市ホームページや公式アプリ「春ボケ」で講座情報、イベント情報を提供した。 HPアクセス件数：8,055,790件 イベントカレンダー：37,662件	公民館・ふれあいセンター講座など、ホームページや春ボケからの申し込みが可能となり、インターネットを通じた申し込みが増加した。	【A】

広報春日井 【広報広聴課】	生涯学習に関する情報を始め、市の魅力、市政情報に関するきめ細かな情報を発信するため、広報誌を発行する。	発行回数：年24回 発行日：毎月1日号及び15日号 仕様：A4（1日号：全面カラー、15日号：2色刷り） 発行部数：98,000部 主な内容：市のお知らせや催し、講座情報、市の魅力情報等 配布先：町内会加入世帯への配布の他、公共施設や金融機関、郵便局やコンビニエンスストアなどに設置 ・公共施設や金融機関、郵便局やコンビニエンスストアなど、幅広い機関へ設置し、情報が取得できる環境を整備した。また、残部数調査を行い、適正な部数の設置に努めた。	広く市民に情報を提供できた。 受講者へのアンケートでは、情報源として広報春日井が圧倒的多数を占めている。	【A】
------------------	---	---	---	-----

(2) 生涯学習活動団体の情報の提供（市民が気軽に生涯学習活動に参加できるよう、グループやサークルの情報を提供する。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施状況
生涯学習情報サイトへの団体登録 【文化・生涯学習課】	公民館やふれあいセンター等で活動している団体の活動内容等をインターネット上で提供する。	「講師情報」「団体・サークル情報」「講座情報」などについてインターネットを通して広く提供した。 団体登録件数：153団体（うち新規登録34団体） アクセス件数：41,593件	生涯学習活動を行う団体の情報を発信し、インターネットを通じて情報提供できた。	【A】
生涯学習情報誌での活動紹介 【文化・生涯学習課】	生涯学習情報誌において、一緒に学ぶ仲間を募集している団体の活動紹介を掲載する。	実施なし	情報誌は、講座の紹介で紙面がいっぱいになってしまったため、紙面の構成や情報誌の掲載内容を再検討する必要がある。	【C】

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度
生涯学習情報誌「まなびや選科」の認知度	32.3%	37.0%	42.0%	2021年度に測定
生涯学習情報サイト「まなびや選科」の認知度	32.3%	37.0%	42.0%	2021年度に測定

施策の評価

実施状況（掲載事業数 6）		評価
A 実施することができた	5	市公式サイトや市公式アプリ「春ポケ」によるインターネット情報の利用が向上している。 一方で、生涯学習情報誌「まなびや選科」は利用が進んでいない状況も見られるため、あり方を検討すべきである。
B 実施に向け検討している	0	
C 実施できなかった	1	

施策 1－2 学習活動の多様なきっかけの提供

(1) 相談窓口機能の充実（学習機会や生涯学習活動を行うグループ、サークルに関すること、学習成果の活かし方など様々な相談を行うことができる窓口の充実を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
生涯学習指導員 【文化・生涯学習課】	市民からの生涯学習に関する相談への対応や学習情報の提供を行う生涯学習指導員を配置する。	生涯学習指導員配置状況 文化・生涯学習課 2人 松原学習センター 3人	生涯学習指導員を配置した。 市民からの相談がなく、事業の企画・助言、講座の講師等が指導員の主な業務という状況が続いている。	【A】
ボランティア相談及び市民活動・NPO相談 【市民活動支援センター】	ボランティアや市民活動を支援するため、ボランティアの紹介や市民活動に関する相談事業を実施する。	(1) ボランティア相談 火曜日～金曜日 午前9時～正午、午後1時～5時 相談件数 2,529件 (2) 市民活動・NPO相談 ・職員、市民活動支援に優れた相談員（相談内容により予約制） 火曜日～日曜日午前9時～午後5時 ・NPOスタッフ 火曜日～木曜日 午前9時～午後3時 (3) 相談件数 69件	平成30年度から相談窓口 にNPOスタッフを配置し、NPOとの連携を強化した。	【A】

(2) 生涯学習のきっかけとなる講座の開催（生涯学習が身近なものと感じ興味関心を持つことができるよう気軽に参加できる学習機会を提供する。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
初心者向け講座 【公民館・ふれあい センター等】	生涯学習を始めるきか けとなるよう、さまざ まな分野の初心者向け の講座を実施する。	公民館・ふれあいセンターにおいて、市民に利用しやすい学習環 境を作るため、語学、健康、音楽、芸術など幅広い分野で、初心 者向けの講座を実施した。 「誰でも簡単」「気軽に」など初心者が参加しやすいようなタイ トルとした。 (1) 公民館 実 施 数：27講座 実施講座：初めての韓国語講座、初心者のための楽しい書道、 持ち込みタブレット入門講座、はじめてさん編み物 講座、引いてみようウクレレ入門講座 ほか 受講者数：1,801人 (2) ふれあいセンター 実 施 数：20講座 実施講座：初歩から学ぶ英会話、はじめてみよう♪フラダンス、 誰でも簡単！初めての鍵盤大正琴、手軽に気軽にち よこっとお絵描き ほか 受講者数：1,466人 (3) 青年の家 実 施 数：8 講座 実施講座：初心者のための複音ハーモニカ講座、気軽に歌おう ボイストレーニング入門講座、初心者のための津軽 三味線講座 ほか 受講者数：533人	「初めての韓国語講座」終 了後、生涯学習活動認定団 体が結成され、勉強会を継 続している。	【A】

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度
生涯学習に取り組んでいる人の割合	65.0%	70.0%	75.0%	2021年度に測定

施策の評価

実施状況（掲載事業数 3）		評価
A 実施することができた	3	様々な形で学習の機会が提供されている。 生涯学習指導員は、経験や知識を生かし、市民の生涯学習が一層充実するような指導的な役割が期待される。
B 実施に向け検討している	0	
C 実施できなかった	0	

基本目標 2 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

施策 2-1 ライフステージに応じた学習機会の充実

(1) 乳幼児期における学習機会の充実（乳幼児が健やかに育める学習機会や子育て家庭を支援するような学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
乳幼児を対象とした講座 【文化・生涯学習課】	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。	講師発掘・登用事業で乳幼児を対象とした講座や子育て術についての講座を行った。 実 施 数：3講座 実施講座：スキンシップたいむマミーベビー、イライラしない子育て術～アンガーマネジメントでハッピーに ほか 受講者数：49人	母親同士の情報交換の時間を設け、交流を図ることができた。	【A】
乳幼児を対象とした講座 【公民館・ふれあいセンター】	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。	(1) 公民館 実 施 数：13講座 実施講座：親子で楽しくリトミック、親子の絆を深める子守唄講座、親子で楽しくイングリッシュ ほか 受講者数：2,520人 (2) ふれあいセンター 実 施 数：9講座 実施講座：おやこでいっしょにABC、歌おう♪踊ろう！おやこでイングリッシュ ほか 受講者数：662人	親子の絆を深める子守唄講座は、子守唄を歌うだけでなく育児に関する相談をすることができた。親と子の間だけでなく、参加者同士でコミュニケーションを図る機会を設けることができた。	【A】
乳幼児を対象とした講座 【保育課（子育て支援センター）】	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。	(1) 育児講座 未就園児とその保護者を対象に、本の読み聞かせや親子での遊びなどの講座を通じ、育児に必要な知識を提供した。また、保護者を対象に事故の応急処置法の指導を行った。 5回開催 参加人数 144組 338人 (2) 親子教室 遊びを楽しみながら親子が触れあう時間を持ったり、子育ての不安や悩みを話し合える場を作ったり、母親の友達作りを支援した。 ・げんきっ子教室 34回開催 参加者数 2,001人	親子が触れあう時間を持ったり、子育ての不安や悩みを話し合える場を作ったり、母親の友達作りを支援できた。	【A】

		・子育てサロン 21回開催 参加者数 288組 626人 ・お父さんといっしょ 2回開催 参加者数 39組 83人		
乳幼児を対象とした講座 【保育課（交通児童遊園）】	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。	子育て家庭の育児不安を和らげ、よりよい親子関係を育てる。子どもや親同士の仲間づくりのための「出会いの場」を設けた。 実施数：32回 内 容：体操、手遊び、リズム遊び、親子ふれあい遊び、簡単な制作あそび、誕生会、季節行事など 参加者数：1,823人（870組） 児童に健全な遊びの機会を与え、豊かな経験と楽しさを提供した。 実施数：17講座 実施講座：おいでよ交通児童遊園、交通児童遊園フェア、将棋教室、陶芸教室、手品教室、エコ工作活動、腹話術教室など 参加者数：2,369人	遊園職員による遊びの提供だけでなく、外部講師を招いて『食育』『乳がん自己診断』『交通安全』などのテーマで保護者向けに啓発する機会を設けた。	【A】
乳幼児を対象とした講座 【図書館】	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する	乳児期からの読書活動を支援するため、また家庭における読み聞かせを継続するため、親子向けの読みきかせを行った。 ・ブックスタート 実施回数：60回 参加者数：2,639組 ・赤ちゃんのためのおはなし会 実施回数：図書館 21回、西部ふれあいセンター 12回 参加者数：図書館 1,421人、西部ふれあいセンター 453人 ・紙芝居とお話を聞く会 実施回数：147回 参加者数：1,547人 ・すくすく読み聞かせ会 実施回数：12回 参加者数：196人	子どもの読書習慣づくりのきっかけとして様々な機会を提供することができた。	【A】
パパママ教室 【子ども政策課】	妊婦とその夫を対象に、出産や育児等について理解を深めるよう保健師や助産師が指導を行う教室を開催する。	(1) パパママ教室 対象：市内在住の妊婦（妊娠6か月以降）とその夫 2回1コース、毎月、総合保健医療センターで実施 参加者数：430人（パパ105人、ママ325人）	妊婦とその夫が出産や育児等について理解を深める機会を提供できた。	【A】

		(2)日曜パパママ教室 対象：市内在住の初産婦（妊娠7か月以降）とその夫 毎月1回、総合保健医療センターで実施 参加者数：838人（パパ419人、ママ419人） ※日曜パパママ教室では、先輩パパを教室参加者の中から募り、育児体験の講話を実施している。		
親支援事業（カンガルーひろば）【子ども政策課】	育児不安を抱える母親同士のグループを対象にグループミーティングを行いながら、問題解決の糸口が見つかるよう支援する。	育児不安を抱える母親を対象に、育児不安の軽減、育児スキルの向上、孤立感の解消と仲間づくり等を目的として、育児指導やグループミーティングを行う。 対象：7か月児から1歳頃の母子 定員：20組 1グループあたり2回、2グループ実施 スタッフ：臨床心理士、保健師、保育士、歯科衛生士 参加者数：実人数55人（延べ103人）	育児不安を抱える母親同士のグループに対し、問題解決の支援ができた。	【A】
育児相談 【子ども政策課・保育課 ほか】	子育ての不安や孤立感が軽減するよう、電話や面接、Eメールで子育ての不安や悩みの相談を受ける。	主に就学前児童の親の育児不安や孤立感を解消するよう、乳幼児の子育てに関する相談に対し、助言や情報提供を行った。 (1)子育て支援センター 実施日時：月曜日～金曜日 9:00～16:00 電話相談： 37件 面接相談： 100件 (2)児童センター 実施日時：火曜日～日曜日 9:30～16:00 相談件数：80件 (3)東部子育てセンター 実施日時：月曜日～土曜日 10:00～16:00 相談件数：287件 (4)交通児童遊園 実施日時：火曜日～日曜日 9:30～16:00 相談件数：6件 (5)すくすくEメール相談 相談件数：10件 このほか、神屋子育て支援センター、子育て子育て支援館、グループふじとうでも育児相談を実施した。	来所したついでに気軽に相談できるような体制を整えているほか、東部子育てセンターにおいては、月1回専門家によるアレルギー相談や発達相談などを行った。	【A】

(2) 青年期における学習機会の充実（青少年が豊かな人間性、社会性、公共性を身につけることができるような学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
土曜チャレンジ・アップ教室 【学校教育課】	子どもたちの自主性を高め、幅広い成長を促すとともに可能性を広げるために、地域の多様な経験や技能を持つ人材・大学・企業等の協力により、子どもたちにとってより豊かで有意義な土曜日を実現する。	実施校：10校 実施回数：61回 参加者数：1,389人（児童1,188人 保護者201人） ・実施回数のうち半数以上の講座に関しては、将来、教員を目指す中部大学の学生が講師となり講座の企画、運営を行った。	子どもたちに対し、体験の機会を提供し、有意義な土曜日をすごしてもらうことができた。	【A】
わいわいカーニバル 【子ども政策課】	さまざまな人との関わりや体験を通して、子どもが持つ自由で伸びやかな創造力を引き出す子どもの祭典を開催する。	多くの市民団体や企業等の協力により、子どもたちがさまざまな人たちとの交流や体験を行うことができる催しを開催した。 開催日：5月13日（日） 会場：落合公園、三ツ又ふれあい公園、ふれあい緑道 参加人数：2万人 行事：71事業 参加団体：57団体	雨天開催となったため、オープニングセレモニーの会場変更やステージ発表及び一部催事を中止するなどの影響があったが、体育館内の催事は盛況であった。	【A】
子ども・親子向け講座 【文化・生涯学習課】	子どもや親子を対象に、料理、工作、体操を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。	大学連携講座や講師発掘・登用事業で小学生または親子を対象に講座を実施した。 子どもを対象とした講座を1講座増やした。 実施数：大学連携講座3講座 実施講座：脳の体操！錯覚遊びと不思議な世界でボール投げ実験ほか 受講者数：62人	大学の人材・設備を活用するなど、子どもや親子を対象に学びの機会を提供した。	【A】

子ども・親子向け講座 【公民館・ふれあいセンター】	子どもや親子を対象に、料理、工作、体操を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。	小学生または小学生とその保護者を対象に体験型の講座を実施し、子どもの想像力を引きだし、親子のふれあいの時間が持てるような講座を実施した。 (1) 公民館 実施数：46講座 実施講座：親子パン作り教室、バルーンで遊ぼう、親子さんすう 数学教室、親子ふれあい将棋講座 ほか 受講者数：1,163人 (2) ふれあいセンター 実施数：23講座 実施講座：ふれあい親子体操、親子で防災を学ぼう、親子体験手打ちうどん作り、かわいい恵方巻作り ほか 受講者数：1,885人	子どもや親子を対象に、様々な学びの機会を提供した。	【A】
子ども・親子向け講座 【青年の家】	子どもや親子を対象に、料理、工作、体操を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。	子ども（小学生）対象の講座を実施した。親子対象ではないが保護者同伴可とし、来館した保護者には調理や工作等参加してもらい親子のふれあいの機会も設けた。 実施数：1講座 実施講座：キッズ！アウトドアわくわく体験講座 受講者数：29人	子どもに対し、体験と学びの機会を提供した。	【A】
子ども・親子向け講座 【男女共同参画課】	子どもや親子を対象に、料理、工作、体操を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。	親子で参加できる講座を実施し、親子のふれあいの機会を設けた。 実施数：4講座 実施講座：イクメンパパと一緒に工作を作ろう！夏休み段ボール 工作教室、夏休み親子料理教室 ほか 受講者数：96人（48組）	施設の特性を生かし、親子での体験と学びの機会を提供できた。	【A】

(3) 成人期における学習機会の充実（家庭生活の充実や生活課題の解決に資するような学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
ふれあい教育セミナー 【文化・生涯学習課】	親のあり方や家庭教育の大切さ等を学習する「ふれあい教育セミナー」に対して補助することで、家庭教育と地域教育の向上を図る。	親子がともに参加できる講座等についても補助の対象とし、親のあり方や家庭教育の大切さ等を学習する講座を充実させ、地域教育力と家庭教育力の向上を図った。 実施団体数：69団体（認定こども園1園、私立保育園3園、幼稚園13園、小中学校52校） 実施回数：407回 主な講座：絵本の読み聞かせ、コミュニケーション心理学を学ぶ、アンガーマネジメント講座、子育てに役立つ収納術、地域の安全についての情報交換、スマホ・ケータイ安全教室 ほか	各学校等の委員会に補助を行い、家庭教育等について学び、交流する講座等が実施された。	【A】
家庭介護者研修 【地域福祉課】	要介護者等を在宅で介護するなど、介護に関心がある人に、家庭での介護に関する知識や技術を習得する機会を提供する。	実施数：9日間 18講座 実施内容： ・家庭介護を担う人の心がまえ ・超高齢社会における住民の主体的地域活動の必要性と心構え ・認知症の基礎理解とケア ・超高齢社会の地域活動に生かすコミュニケーション技術 ・家庭介護におけるトラブルと応急手当の基礎知識 ほか 受講者数：75人 【変更点】 年3回実施を年2回実施とする。	今後さらに増加すると予測される在宅介護に対応できるよう知識や技術を習得する研修を通じて、家庭における介護についてのスキル向上や負担軽減の啓発を行った。	【A】
認知症サポーター養成講座 【地域福祉課】	認知症に関する正しい知識の普及や認知症高齢者等を介護する家族等の支援を図るため、認知症サポーター養成講座を開催する。	開催回数：60回 受講者数：2,616人	知識の普及を図り、介護する家族等の支援を図ることができた。	【A】
消費生活講座 【市民活動推進課】	悪質商法による被害を未然に防止するための知識や被害にあった場合の対処法等を学べる講座を開催する。	消費生活に関する諸問題について正しい知識を身に付け、適切な問題解決を図れるように講座を開催した。 実施数：28講座 実施講座：派遣講座（23講座）・市等主催講座（5講座） 受講者数：874人	老人会等の団体を中心に、消費生活相談員など専門家を派遣しており、消費者被害の軽減や防止に役立てることができた。	【A】

(4) 高齢期における学習機会の充実（充実した日々を過ごし、いつまでも元気に暮らすことができるような学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
かすがい熟年大学 【文化・生涯学習課】	高齢者が充実した余暇時間を過ごすとともに学習を通じて健康で生きがいのある生活が送れるよう学習の場を提供する。	実施数：5コース 各15回（開講式・閉講式含む） 内 容：生活、歴史、文学、健康科学、芸術文化の5コースを実施。 参加者数：延べ6,810人	専門性の高い学びのニーズに対し、学習機会を提供できた。	【A】
高齢者学級 【公民館】	60歳以上の方を対象に、身近な施設で歴史、芸能、健康づくりや介護予防など幅広く学べる場を提供する。	(1)中央公民館 和楽路学級 11回 延べ受講者数 260人 (2)知多公民館 ことぶき学級 11回 延べ受講者数 247人 (3)鷹来公民館 えびす学級 11回 延べ受講者数 305人 (4)坂下公民館 源敬学級 5回 延べ受講者数 103人 (5)東部公民館 はいから学級 11回 延べ受講者数 349人	地域の高齢者に対し、幅広く学ぶことができる機会を提供できた。	【A】
高齢者の就労支援 【地域福祉課】	働く意欲ある高齢者の就労を後押しするため、必要な知識や技能が習得可能な講座の開催やシルバー人材センターとの連携を推進する。	高齢者の就労につながる、必要な知識や技能の習得可能となる講座の開催を検討し、次年度から実施するため予算措置を行った。 【令和元年度新規事業】 シルバー人材センターにて高齢者の健康増進や生きがいづくりにつながる講座（剪定講座、筆耕、パソコン講座、DIY講座など）の実施	令和元年度新規事業として実施する。	【B】
介護予防講師派遣事業 【地域福祉課】	地域の概ね10人以上の高齢者が定期的に集まる場に、専門知識を持った講師を3か月程度派遣し、地域での介護予防の取組を支援する。	派遣回数 89回 ※既に自主活動として継続している場にも介護予防活動を普及することを目的に派遣できるよう変更した。	講師派遣事業の実施後、複数の団体が受講者が主体となって自主活動として継続できている。	【A】

Uターン育児塾 【子ども政策課】	祖父母世代に新しい育児事情の学習機会を与え、その立場から育児参加をしてもらい、出産・育児支援の充実を図る。	もうすぐ孫が生まれる人、または1歳未満の孫がいる祖父母を対象に、育児教室を行う。祖父母は主体的に育児を担うのではなく、新米パパママのサポーターとして活躍することを目的に実施した。 対象者：もうすぐ孫が生まれる人、または1歳未満の孫がいる人 内容：保健師の講話・育児体験（沐浴実習等） 実施回数：4回 参加者数：50人	祖父母世代のみでなく、パパ、ママ同伴も参加可能とした。	【A】
---------------------	---	--	-----------------------------	-----

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度
親子で参加する講座の延受講者数（公民館、ふれあいセンター、青年の家、レディヤンかすがい）	5,733人	5,900人	6,100人	6,466人
ふれあい教育セミナーに取り組む小中学校等数	67セミナー	69セミナー	71セミナー	69セミナー
かすがい熟年大学の延受講者数	7,159人	7,500人	7,900人	6,810人

施策の評価

実施状況（掲載事業数 23）		評価
A 実施することができた	22	子どもや親子を対象とした講座が好評であることが見て取れる。忙しく働く世代は、子どもを通じてでないと公民館等を利用することがあまりないと思われるので、次の世代の施設利用者を開拓する意味でも、力を入れることが望ましい。
B 実施に向け検討している	1	
C 実施できなかった	0	

施策２－２ 現代的・社会的課題やニーズに対応した学習機会の充実

(1) 夜間や休日に開催する講座の充実（多様なライフスタイルに対応した学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
夜間や休日における 講座の開催 【公民館・ふれあいセ ンター】	公民館やふれあいセン ター等において、平日の 夜間や土曜、日曜、祝日 に開催するさまざまな 分野の講座の充実を図 る。	平日に働く人も受講できるように、休日や夜間に講座を実施した。 (1) 公民館 実 施 数：54講座 実施講座：家族にも食べさせたい！男の料理、働く大人のバレン タインケーキ講座、ゆかた着付け教室ほか 受講者数：1,411人 (2) ふれあいセンター 実 施 数：23講座 実施講座：ふれあい親子体操、親子で防災を学ぼう、休日おやこ D I Y講座、週末リセット女性ヨガ ほか 受講者数：1,885人 (3) 青年の家 実 施 数：3 講座 実施講座：初心者のための太極拳入門講座、キッズ！アウトドア わくわく体験講座、初心者のための津軽三味線入門講 座 受講者数：137人	平日昼間に実施していた 講座を休日や夜間に変更 して実施したところ、30 ～50代の受講者が増加 し、これまで参加できな かった世代の参加が増加 した。 受講者の中から、施設で 定期的に活動している登 録団体への加入が複数あ った。	【A】
夜間や休日における 講座の開催 【レディヤンかすが い】	公民館やふれあいセン ター等において、平日の 夜間や土曜、日曜、祝日 に開催するさまざまな 分野の講座の充実を図 る。	平日に働く人も受講できるように、休日や夜間に講座を実施した。 実 施 数：32講座 実施講座：男の料理塾、知っておきたい！子どもの食とアレルギー ー、安心して老後を生きるための「エンディングノー ト」の書き方を学ぶ、片付け整理術～片付け&整理のコ ツ教えます～ ほか 受講者数：1,177人	新規講座を導入し、新た な受講者の増加を図っ た。	【A】

(2) 障がいのある人が学べる機会の充実（障がいのある人が地域社会の中で多様な学習活動が行うことができるよう啓発活動の推進、学習の場の提供を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
障がい理解のための 啓発講演会 【総合福祉センター】	障がいのある人も社会の一員として活動に参加できる環境を醸成するため、障がいに対する正しい理解と認識を深める講演会を開催する。	講演：合理的配慮のリアル ～発達障がいの支援を交えて～ 日時：12月7日（金）午後1時30分～3時30分 場所：グリーンパレス春日井（第1会議室） 講師：綿 祐二氏（日本福祉大学 福祉経営学部 学部長） 内容：障がい者差別解消法により障がいのある人への「合理的配慮」などが求められていることから、障がいのある人の地域生活をどう支えていくか、多くの価値観を共有するために何が必要かを考える。	アンケート結果として約8割が「とてもよかった」と回答しており、高い満足度だったと言える。	【A】
障がい者を対象とした講座 【総合福祉センター】	パソコンの操作方法や軽運動など障がいの特性に配慮した講座を開催する。	手とり足とりパソコン講座、実践パソコン講座を実施し、障がい者にパソコンの操作方法を学ぶ機会や元気パワーアップ講座を実施し運動の機会を設けた。 実施数：9講座 実施講座：手とり足とりパソコン講座、視覚障がい者パソコン講座、実践パソコン教室、元気パワーアップ運動教室 受講者数：747人（うち障がい者96人）	視覚障がい者パソコン講座において、音声読み上げソフトを使ったスマートフォンの操作方法を学ぶ講座を実施したところ、前年度よりも障がい者の参加が増えた。	【A】
障がい者図書サービス 【図書館】	障がい者に学ぶ機会を提供するため、録音図書や点字図書の製作、ボランティアによる対面読書、図書無料郵送貸出を行う。	音訳技術を学ぶ講座を実施し、受講生に録音図書の製作、対面読書を行う技術を身につけてもらい、ボランティアとして録音図書・対面読書の実施に携わってもらった。また、点字図書についてもボランティアに点字図書製作に携わってもらった。 ・実施講座：音訳技術講習会（初級編） 受講者数：9人 ・実施講座：音訳デジタル録音技術講習会 受講者数：48人 ・製作数等 デージー図書：31種 点字データ：75種 対面読書：117回 実施	音訳技術講習会（初級編）受講者9人全員が、音訳ボランティア団体に入会し、録音図書の製作や対面読書の実施に携わってもらった。	【A】

(3) 就労支援や職業能力を高める学習機会の充実（職業上の知識・技能の習得など生涯を通じて自らの職業能力の向上につながる学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
就職支援に関するセミナー 【経済振興課】	求職者の就業につなげるため、就職活動に必要な知識を得るセミナーを開催する。	求職者が企業採用担当者と接するために必要な知識の取得を図り、就職活動に活かして就業につなげるためのセミナーを開催した。 就職フェア内での開催であるため、セミナーを受けた後の企業面談の際に役に立つ、話し方などを内容に入れた。 (1)就職支援セミナー（就職フェア内事業） 実施数：2回（就職フェア年2回と同日開催） 参加者数：17人	就職フェア内で開催したことで、効果的なセミナーを実施できた。	【A】
合同就職説明会 【経済振興課】	市内企業への就業に関心のある求職者の就業を支援するため、商工会議所が開催する合同就職説明会を支援する。	求職者が就職先を探すにあたり、業界研究や企業研究を行うために必要な知識の取得を図り、市内企業への就業につなげるための合同就職説明会を開催した。 (1)就職フェアin春日井&小牧 実施数：2回 参加者数：95人 就職フェアを通じた採用試験応募件数及び採用件数 ：採用試験応募件数 21社 46名 採用件数 6社 7名	開催時期を早め、参加企業の数も過去最大にした。	【A】
ママインターン 【企画政策課】	就労を希望する母親を支援するため、市内企業等におけるインターンシップを通じて子育てをしながら働くことを体験する機会を提供する。	(1)ママインターン 実習期間：10月15日（月）～12月7日（金） ※事前説明会と交流会を各3回実施。 参加者数：8名 受け入れ事業所：株式会社イマヨシ他7事業所 (2)お仕事見学バスツアー 日時：12月5日（水） 参加者数：15名 見学事業所：株式会社イマヨシ、株式会社内職市場	参加者に、働く体験を通じて自分の新しいライフスタイルについて考えてもらう機会を提供できた。	【A】

(4) 情報化・国際化社会に対応した学習機会の充実（高度情報化への対応や豊かな国際感覚を育むための学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
I C Tの活用に関する講座 【公民館・ふれあいセンター】	インターネット、タブレット、デジタルカメラなどの操作方法や活用方法を始めとした、I C Tに関する講座を実施する。	(1) 公民館 実 施 数：12講座 実施講座：持ち込みパソコン講座～ワード入門 ほか 受講者数：618人 (2) ふれあいセンター 実 施 数：4 講座 実施講座：シニアのための持ち込みタブレット講座入門編 ほか 受講者数：274人	インターネットやデジタル通信機器等について理解を深める機会を提供できた。	【A】
外国の文化にふれる講座 【公民館・ふれあいセンター】	多文化共生社会の実現に寄与するため、外国文化の紹介や体験、親子で楽しく学ぶ外国語などの講座を実施する。	(1) 公民館 実 施 数：3 講座 実施講座：はじめての韓国語、外国人のための日本語講座 ほか 受講者数：417人 (2) ふれあいセンター 実 施 数：9 講座 実施講座：おやこでいっしょにA B C！①②、初歩から学ぶ英会話 ほか 受講者数：717人	初めての韓国語講座で、受講生を中心に生涯学習活動団体ができ勉強会を継続している。	【A】
外国の文化にふれる講座 【市民活動支援センター】	多文化共生社会の実現に寄与するため、外国文化の紹介や体験、親子で楽しく学ぶ外国語などの講座を実施する。	日本語の理解が十分でない外国人市民を対象に、会話等の日本語を学習する日本語教室を開催。また、春・秋・冬の各期に1回、琴や書道等の日本の伝統文化を体験する講座を開催。 開催回数：日本語教室60回 伝統文化体験講座等3回 春期（5・6・7月）、秋期（9・10・11月）、冬期（1・2・3月）の原則第2・3・4・5金曜日及び、第2・3・4・5日曜日（各期とも全10回） 実施内容：日本語教室（文字クラス、会話クラス、初級クラス） 伝統文化体験講座等（琴の演奏、書道体験 ほか） 参加者数：2,142人 子どもの日本語教室を開催。 開催回数：30回 春期（5・6・7月）、秋期（9・10・11月）、冬期（1・2・3月）の原則第2・3・4・5日曜日（各期とも全10回）	外国人市民に対し、日本文化体験等の機会を提供し、交流を図ることができた。	【A】

わくわく！ふれあいワールド 【市民活動支援センター】	多文化共生を促進するため、市内に住む外国人との交流や異文化の紹介・体験を行うわくわく！ふれあいワールドを開催する。	市内で活動する国際交流団体により設立された春日井市国際交流ネットワークと協力して「わくわく！ふれあいワールド」を実施した。 開催回数：6回 実施内容：「外国人と英語とベンガル語で交流しよう！」「親子でイースターを楽しもう」など、外国文化の紹介や異文化体験のイベントを開催。 参加者数：574人（わくわく！ふれあいワールド in 春日井まつり参加者数を除く）	異文化の相互理解を図る機会を提供できた。	【A】
-------------------------------	---	---	----------------------	-----

(5) 環境に関する学習機会の充実（環境に関する正しい認識を持ち、環境に配慮した生活を送るよう環境学習を推進する。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
市民環境アカデミー 【環境政策課】	地球温暖化、省エネルギー、身近な自然環境やその保全活動等をテーマに、座学やフィールドワーク、ワークショップを通じて学ぶ機会を提供する。	地球温暖化、節電・省エネルギー、生物多様性、身近な自然環境やその保全活動などをテーマに、座学やフィールドワーク、ワークショップを通して学ぶ。 受講者：44名 実施回数：6回 実施内容：北極・南極から見た気候変動・地球温暖化、チョウ類のモニタリング調査体験と自然観察、碧南火力発電所見学エコツアー、サボテンが地球を救う!? ほか	過去の修了者に対し活動の場を提供（春日井まつりでのボランティア）するなど受講後の活動を支援した。 座学だけでなく、ワークショップを取り入れ主体的に環境について考えることができるようプログラムを組んだ。	【A】
子ども環境アカデミー 【環境政策課】	子ども（小学4～6年生）とその保護者を対象とし、家族ぐるみで地球温暖化、自然環境保全、循環型社会等について総合的、横断的に学習する機会を提供する。	子どもとその保護者を対象とし、家族ぐるみで環境について学び、考えることで環境まちづくりの基盤となる人材の育成を図る。 受講者：20組41名 実施回数：5回 実施内容：夏休み親子工作教室～資源を活かして壁掛け時計を作ろう～、川越火力発電所見学エコツアー～電気の生まれる瞬間を見に行こう～、ごみ処理の最前線～身近な衛生環境について考えよう～ ほか	対象を親子とすることで家族ぐるみで環境について考えてもらうことができるよう配慮した。 環境について横断的に学ぶことができる内容とするため、環境部各課担当者からなる担当者会議を設け内容を検討した。	【A】

エコライフセミナー 【環境政策課】	環境情報の提供と環境意識の高揚を図るため、地球温暖化や省エネルギーなど身近な視点から環境問題を考える講座を実施する。	環境情報の提供と市民の環境意識の高揚を図ることにより、環境まちづくりを推進するため実施した。 (1)夏のエコライフセミナー「竹で遊ぼう！～水でっぽう作り～」 日 時：8月1日（水） 場 所：文化フォーラム春日井 交流アトリウム、市民広場 参加者：市内小学生とその保護者19組46名 (2)エコライフセミナー 「地球の環境と天然ガス～超低温の世界を体験～」 日 時：2月16日（土） 場 所：知多公民館 参加者：市内小学生とその保護者3組7名	工作や、実験を取り入れ、子どもに関心をもってもらえるよう配慮した。 対象を親子とすることで家族ぐるみで環境について考えてもらうことができるよう配慮した。	【A】
ごみの減量と3Rの推進に関する講座 【クリーンセンター】	ごみの減量と3Rの推進を図るため、生ごみの堆肥化やごみとして処分される物品をリメイクして活用する講座などを開催する。	生ごみの堆肥化や、ごみとして処分される物品をリメイクして活用する講座を開催することにより、ごみの減量化と環境に対する正しい認識を持つ機会を設ける。 実施数：46講座 58回 実施講座：ぼかし作り教室・リメイク教室・包丁の研ぎ方教室・親子工作教室・自転車修理教室 ほか 受講人数：810人	講座の開催により、環境に対する認識を深め、ごみの減量と3Rを推進することができた。	【A】

(6) 健康に関する学習機会の充実（健康維持・増進や健康づくりへの意識高揚を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
市民健康づくり講座 【健康増進課】	生活習慣を改善するきっかけづくりとなるよう、健康づくりと予防方法に対する正しい知識を身につけることができる講座を実施する。	実施数：5講座 講座内容：「食」の観点から災害に備える（参加者33人） 笑いで心と身体をリフレッシュ（参加者47人） 実践！健康づくり運動（参加者180人） 子どもの感染症と予防注射（参加者64人） よく噛んで脳イキイキ（参加者33人） 参加者数合計：357人	健康について考え、学ぶ機会を提供することで、健康への関心を高めることができた。	【A】

女性のためのヘルスアップ講座 【健康増進課】	各ライフステージにおける女性を対象とした健康づくり講座を実施する。	実施回数：8回 参加人数：189人 対象及び内容：（全世代）食育・調理実習 （子育て世代）親子で楽しむ健康運動 （壮年期世代）更年期の対処法、健康運動 （高齢期世代）歯の健康、健康運動	幅広い世代に対して実施することができた。	【A】
お気軽健康教室 【健康増進課】	高齢期における自立度の低下を防ぎ、健康寿命の延伸を図るため、ロコモティブシンドロームや認知症の予防に効果的な軽運動を行う教室を開催する。	実施回数：50回（総合保健医療センター） 43回（保健センター） 参加人数：3,972人（総合保健医療センター） 1,253人（保健センター）	高齢期における自立度の低下の防止、健康寿命の延伸を図るための健康づくりに取り組める環境を提供できた。	【A】

(7) 男女共同参画に関する学習機会の充実（男女共同参画についての理解を深める。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
男女共同参画セミナー 【男女共同参画課】	あらゆる世代の方が生涯を通じて男女共同参画の視点を持ち、能力を開発、発揮し、社会のあらゆる分野へ参画していくために必要な能力を高めることができるよう講座の開催など学習機会を提供する。	女性自身が自立した個人としての意識を持ち、その能力をより高め、さまざまな分野で活躍できるよう女性の学習機会を提供した。また、男女共同参画社会の実現に向け、男女平等の意識づくりを目的としたセミナーを実施した。 実施数：4講座 5回 実施講座： ・一般市民向け講座（3講座・4回） 脳のパフォーマンスアップで、仕事も家庭も豊かになる楽読カラーで外見力向上講座～見た目で損する人、得する人～ 脳がよるこぶ！笑顔がうまれる！シナプソロジー～脳活性化プログラム～（2回） ・事業所向け講座（1講座・1回） ワーク・ライフ・バランスセミナー 受講者数：70人	より多くの方が参加できるようなテーマの選択を行った。	【A】

男女共同参画市民フォーラム 【男女共同参画課】	男女共同参画社会の実現を目指した意識啓発を目的に、市民、社会活動団体、企業、市がともに考える機会として、市民フォーラムを開催する。	「男女共同参画」について、多くの市民に知ってもらうため、男女共同参画市民フォーラムを開催した。 実施日：11月11日（日） 場 所：レディヤンかすがい 参加者：150人 内 容：テーマ「若年女性を取り巻く現状～SNSに潜む危険～」 ・講演 橋 ジュン氏 （特定非営利活動法人BONDプロジェクト代表） ・パネルディスカッション	若年層向けのテーマを選択したため、テーマに合わせ学校にチラシだけでなくポスターの配布も行った。	【A】
ワーク・ライフ・バランスの推進 【男女共同参画課】	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進するため、男女共同参画情報紙「はるか」による啓発のほか、事業者等に対する出張講座を行う。	(1)ワーク・ライフ・バランス啓発パンフレットの活用 (2)市内公共施設に設置、春日井市ホームページに掲載 (3)ワーク・ライフ・バランスに取り組むメリットや取り組み事例の内容及び効果を広く周知するために、企業に対してセミナー講師の派遣を行った。 実 施 数：1回 参加者数：11人	情報紙、ホームページを活用して、周知を図った。	【A】

(8) 市民ニーズの的確な把握（多様化・高度化し、社会情勢に合わせて変化する市民ニーズを把握する。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
アンケートを活用した市民ニーズの把握 【文化・生涯学習課】	講座受講者へのアンケートを実施するとともにネットアンケートシステム等を活用して市民ニーズの把握を行う。	各種講座において、実施後受講者に対しアンケート調査を行った。	受講者ニーズ等を知ることができた。 公民館等の施設でのアンケート実施率、情報共有等が十分でなく、さらにニーズの把握、情報の活用を図る必要がある。	【A】
講座を評価する仕組みの構築 【文化・生涯学習課】	市民ニーズに即した講座の開催を目指し、講座への応募状況、講座内容や講師に対する満足度などを基に、講座を評価する仕組みづくりを行う。	実施なし	他市町の講座の企画・運営方法や評価方法などを調査し、検討を行う。	【C】

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度
公民館及びふれあいセンターなどで開催する講座の延受講者数	26,361人	27,500人	29,000人	25,418人

施策の評価

実施状況（掲載事業数 24）		評価
A 実施することができた	23	様々な分野で、課題の解決に向けて生涯学習の手法が活用されている。楽しく学ぶことで、市民の意識の向上、公共の取り組みへの参画も期待されるので、さらに広く展開されたい。
B 実施に向け検討している	0	
C 実施できなかった	1	

施策 2－3 生涯スポーツの振興

（1）多目的総合運動広場の整備（スポーツ環境の充実や健康の維持増進を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
多目的総合運動広場の整備 【スポーツ課】	スポーツ環境の充実や健康の維持増進を図るため、朝宮公園に公園全体でスポーツ振興や健康社会の実現、子育て環境の充実を図り、市の魅力アップにもつながる施設として、多目的総合運動広場を新たに整備する。	(1)朝宮公園整備工事 30年度工事内容 ・ 5月～ 整備設計業務（～令和2年度継続中） ・ 4月～1月 屋外プール解体工事 ・ 1月～3月 防球ネット等撤去工事	概ね計画どおりに事業を推進した。	【A】

(2) コミュニティスポーツの推進（コミュニティスポーツの推進を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
総合型地域スポーツ クラブの支援 【スポーツ課】	健康・体力づくり運動 に関する啓蒙と事業実 施を行う学校区体育振 興会を育成し、地域ス ポーツの振興を図る。	(1)地域住民のスポーツ・レクリエーションの普及振興を図るた め、春日井市体育協会を通じて各学校区体育振興会に補助金を交 付した。 (2)春日井市内18学校区体育振興会の交流を図ることを目的に、学 校区体育振興会交流大会を開催した。 期 日：11月18日（日） 会 場：総合体育館第1競技場、総合体育館運動広場 種 目：ソフトバレーボール、グラウンド・ゴルフ 参加人数：509人	平成30年度より、1～3 位の表彰に加え、飛び賞 として5、10、15位に副 賞を設けて、多くの参加 者に楽しんでもいただける よう工夫した。	【A】
スポーツ推進委員 【スポーツ課】	地域のスポーツ大会、 スポーツ教室等の実施 に関する連絡調整及び 指導・助言や健康・体 力づくりの実技指導を 行うスポーツ推進委員 の充実を図る。	地域スポーツ振興のリーダーとして各地域活動の活性化を促すよ う、実技研修会や講習会への参加により、スポーツ推進委員の意 識高揚を図り、実践力や企画力等の資質向上に努めると共に、新 たな指導者の発掘を目指した。 また、全委員を対象にラジオ体操指導員資格を取得するよう促し ており、委員の約90%が取得している。今年度もラジオ体操講習 会等への参加によるスキルアップを図りながら、各地域でのラジ オ体操の普及活動に努めた。 ○春日井市スポーツ推進委員実技研修会の開催（4回） ○その他（研修会等への参加） 第59回全国スポーツ推進委員研究協議会 第66回東海四県スポーツ推進委員研究大会 ほか スポーツ推進委員の派遣 派遣件数：26件、派遣人数：161人	地域スポーツ振興のリー ダーとして活動していた だいた。その成果は、地 域等への巡回指導、レクリ エーションスポーツイベ ント等の開催に通じてい る。	【A】
ラジオ体操会 【スポーツ課】	子どもから高齢者ま で、あらゆる世代の交 流や健康づくりを推進 するため、毎年8月の 第1日曜日を「ラジオ 体操の日」とし、「みん なでラジオ体操会」を 実施することで、ラジ オ体操の普及を図る。	(1)みんなでラジオ体操会 期 日：8月5日（日） 会 場：朝宮公園、坂下小学校 参加人数：1,110人 (2)「市制75周年記念事業 特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会」 を開催した。 期 日：9月23日（日・祝） 会 場：落合公園 参加人数：1,300人	ラジオ体操指導員資格を 有するスポーツ推進委員 を始め関係団体等と連携 を図りながら開催した。	【A】

(3) スポーツに関する学習機会の充実（日常的にスポーツやレクリエーションスポーツに親しめる機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
スポーツに関する講座・教室 【公民館・ふれあいセンター】	健康づくりや生きがいづくりを推進するため、各年齢層に向けて、気軽にスポーツに親しめる講座や教室を実施する。	(1) 公民館 実施数：9講座 実施講座：気になる健康あれこれ～貯筋運動編～ ほか 受講者数：862人 (2) ふれあいセンター 実施数：28講座 実施講座：みるみるカラダが若返る！ぴんぴんトレーニング教室 ほか 受講者数：2,892人	気軽にスポーツに親しむ機会を提供できた。	【A】
スポーツイベント 【スポーツ課】	マラソン大会、スポーツフェスティバルなどを実施し、多くの市民が生涯を通じてスポーツに親しむことができるよう、各世代のニーズに合わせたスポーツへの参加機会の充実を図る。	(1) 第37回新春春日井マラソン大会 期 日：1月13日（日） 参加人数：8,722人 (2) かすがい！スポーツフェスティバル 期 日：10月8日（月・祝） 参加人数：8,864人 (3) レクリエーションスポーツ祭2018 期 日：6月10日（日） 参加人数：3,436人 (4) 第34回春日井市内高校生スポーツ大会 期 日：6月9日（土）～8月5日（日） 参加人数：3,340人 (5) 市民体育大会 期 日：4月1日（日）～3月31日（日） 参加人数：10,973人	・マラソン大会：自己申告タイムにより10km競技スタート位置のグループ分けを行い、競技進行の円滑化を図った。 ・高校生スポーツ大会：天候の急変や高温が予想される場合に、競技の時間を前倒しして実施することにより参加者の安全や健康に配慮した競技運営を行った。	【A】
春日井市スポーツ・ふれあい財団との連携 【スポーツ課】	生涯スポーツ教室や出張スポーツ講座を始め、さまざまなスポーツ教室（講座）やスポーツイベントを行う、春日井市スポーツ・ふれあい財団と連携し、スポーツに親しむ機会の充実を図る。	スポーツ・ふれあい財団が事業を進めていくために必要な経費を補助し、その運営の充実及び住民福祉の向上を図った。 (1) スポーツ教室（講座）の開催 実施内容：生涯スポーツ教室事業、運動指導事業、地域ふれあい運動教室、出張スポーツ講座及びトレーニング教室 延べ回数：3,039回 参加人数：75,091人 (2) スポーツイベントの実施	連携により各種事業を実施できた。	【A】

		実施内容：親子で楽しむ！スポーツ教室、泳いでいるフォームを撮影できます！、水ケーション、萩原智子杯水泳競技大会in春日井兼サンフロッグ春日井水泳競技大会、スポーツ観戦事業 ほか 参加人数：7,130人		
--	--	---	--	--

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度
スポーツ教室の参加人数	68,266人	70,500人	73,000人	74,385人

施策の評価

実施状況（掲載事業数 7）		評 価
A 実施することができた	7	スポーツ環境の充実や市民の健康の維持増進について、着実に各事業が進められている。
B 実施に向け検討している	0	
C 実施できなかった	0	

施策 2-4 文化芸術の振興

(1) 文化芸術の鑑賞機会の提供（誰もが気軽に文化芸術に親しむことができる環境の充実を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
どんぐり芸術文化劇場 【東部市民センター】	文化事業を通じた地域交流・世代間交流の活性化を図るため、地域住民に身近なホールにおいて、本格的な文化芸術に触れる機会を設ける。	地域住民に身近なホールで、芸術文化などの鑑賞機会を提供し、文化事業をととした地域交流・世代間交流の活性化を図った。 催事名：東部市民センター平成30年度ニュータウンきずな事業 どんぐり芸術文化劇場・リニューアル記念イベント 実施日時：2月9日（土）午前10時～午後4時 出演：タクマ&みゆき、コンサートグループ「花の詩」 ほか 協力：春日井市スポーツ・ふれあい財団 ほか 入場者数：2,820人	平成30年度は東部市民センターの「リニューアル記念イベント」とコラボした特別イベントとして開催。	【A】
かすがい市民文化財団との連携 【文化・生涯学習課】	かすがい市民文化財団と連携し、文化芸術の鑑賞機会の充実を図る。	かすがい市民文化財団自主事業として、美術系・舞台系・文芸系事業を実施した。 (1)美術系事業 ・西本喜美子写真展「みんなで遊ば、楽しかよ！」 ・歌人・鈴掛真短歌展 そして言葉の導く先に ほか (2)舞台系事業 ・松竹大歌舞伎 ・南野陽子&葛西聖司 伝統芸能の魅力発見！～にっぽんの楽器・弾き物編～ ・こまつ座「母と暮せば」 ・若手音楽家支援事業 ワンコインコンサート ・演劇×自分史 カスガイ創造プロジェクト ほか (3)文芸系事業 ・公募自分史「旅に遊び 旅に学ぶ」 ほか	多様な事業を実施し、市民に文化芸術の鑑賞機会を提供した。 ミッションに基づいて事業立案を行い、事業起案時に設定した目標の達成度をアンケートなどを用いて評価している。	【A】

地域に身近な会場での鑑賞・交流機会の提供 【文化・生涯学習課】	身近な場所で文化芸術が鑑賞でき、交流できる機会を提供するため、小学校の体育館でのコンサートなどを開催する。	(1)市内外で活躍する芸術家等を派遣する「あ〜とふるマイタウン（芸術家等派遣事業）」を実施した。 ・音楽で遊んじゃおう（コンサートグループ「花の詩」） 実施場所：大手、坂下南、牛山保育園 ・オペラへの扉（アンサンブル「花束」） 実施場所：柏原、神領、第三保育園 ・大きな筆で大きな文字を書こう（武内峰敏） 実施場所：中央台小学校、味美保育園 ・雅印を作ろう―篆刻に挑戦（小川大樸） 西尾小学校 (2)コンサートグループ「花の詩」と共同で市制75周年記念事業「まちかどコンサート」を開催した。 ・かすがいげんきっ子センター始め市内各所で12回開催 (3)文化財団主催「かすがいどこでもアート・ドア」を実施した。 ・ギタリスト井草誠二 南城中学校	学校や保育園、市内施設など身近な場所で文化芸術が鑑賞でき、交流できる機会を、未就学児から一般まで幅広い世代に提供した。	【A】
近隣美術館などとの連携の推進 【文化・生涯学習課】	近隣自治体にある美術館等などとの連携を推進し、より展覧会などを鑑賞しやすくする事業を実施する。	かすがい熟年大学の芸術文化コースにおいて、近隣美術館の学芸員等に講師を依頼し、近隣美術館の展覧会の内容や所蔵品等について講義を行った。 ・「美術館の誕生」碧南市藤井達吉現代美術館 館長 木本文平 ・「かな古筆の名品」徳川美術館 学芸部長 四辻秀紀	展覧会内容や所蔵品を知る機会を設けることで、芸術への関心を促すことができた。	【A】

(2) 文化芸術に関する学習機会の充実（文化芸術活動に気軽に参加し活動のきっかけづくりとなる講座や学ぶ機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
あ〜とふるマイタウン事業 【文化・生涯学習課】	地域の身近な場所で文化芸術に親しめるよう、市内外で活躍する芸術家等を地域の集会所や公民館に派遣する。	文化・芸術に触れる機会を提供するとともに、それぞれの地域の身近な場所において文化・芸術に親しんでいただくため、市内外で活躍する芸術家等を派遣する「あ〜とふるマイタウン（芸術家等派遣事業）」を実施した。 ・和・洋楽器あんさんぶる（アンサンブル・リベルタ） 派遣先：上条区 始め3回 ・津軽三味線の響き（馬場淳史） 派遣先：押沢台地区社会福祉協議会 始め3回 ・落語を楽しもう！（社会人落語「楽語の会」）	伝統芸能等の分野で、身近な場所で文化芸術が鑑賞でき、交流できる機会を提供した。 毎年応募される団体も多いので、派遣先が偏らないよう工夫した。	【A】

		派遣先：月見町町内会 始め3回 ・First Time 日本舞踊へようこそ！（踊・odori「kanyou家」） 派遣先：岩成台西地区社会福祉協議会 始め3回		
かすがい文化フェスティバル 【文化・生涯学習課 （かすがい市民文化財団）】	次代を担う子どもたちが茶道、華道、日本舞踊等の伝統文化を始めとしたさまざまな文化に親しみ、身近に体験できる講座を開催する。	平成23年度から市で開催してきた「文化体験道場」とかすがい市民文化財団で開催してきた「昼涼みプロジェクト」を統合し、伝統文化から現代アートまで、子どもたちが多様な芸術文化に触れられる総合体験型イベント「かすがい文化フェスティバル」としてリニューアルし、芸術文化活動を通じた市民交流の場の創出を目指した。 実施日：夏休み期間中 毎週木曜日 実施内容：自分史や人形劇など幅広いジャンルのワークショップを開催 スペシャルデー体験講座：7月29日（日） 書道、琴、大正琴、日本舞踊、三味線、着付け、茶道、華道、水墨画、和太鼓、ギター、木目込み人形、クラフト作りなど	次代を担う子どもたちを対象とした茶道、華道、日本舞踊等の伝統文化を始めとしたさまざまな文化に親しみ、身近に体験できる機会を提供した。より多くの方が参加できるように、申込・抽選方法等を工夫した。	【A】
市民美術展覧会 【文化・生涯学習課】	市民の作品発表と鑑賞の機会を提供するため、日本画、洋画、書、彫塑工芸、写真の部門での公募展を開催する。	市民の美術作品の発表と鑑賞の場を設けることにより、市民の美術文化の向上を図った。 申込：7月3日（火）～16日（月・祝） 展示：8月25日（土）～9月2日（日） 募集部門：日本画（水墨画を含む）、洋画（油彩・水彩・版画等）、書（篆刻・刻字を含む）、彫塑工芸、写真 応募点数：計746点 鑑賞者数：11,000人以上	市民の作品発表と鑑賞の機会を提供した。出品者・鑑賞者向けのアンケートを行うとともに、審査会員の意見を聞いた上で事務局の考え方をまとめたものを会場内に掲示するなど、市民の理解を得る工夫をしている。	【A】

(3) 特色ある文化の推進（書道文化、自分史の普及・振興を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
道風展 【文化・生涯学習課】	春日井市で生まれたと伝えられ、三跡の筆頭として日本書道史上に大きな足跡を残した小野道風の偉業をたたえる、全国公募の書の展覧会を開催する。	本市に誕生伝説が残る平安時代の書聖・小野道風の偉業を讃えるとともに「書のまち春日井」を全国発信し、書道文化の振興を図る目的で全国公募の書道展を開催した。 春日井展：10月28日（日）～11月4日（日） 表彰式：11月3日（土・祝） 名古屋展：12月4日（火）～12月9日（日） 市内巡回展：1月上旬からグループふじとう（高蔵寺まなびと交流センター）、西部ふれあいセンター、市庁舎 募集部門：一般部 第1部漢字、第2部かな、第3部近代詩文、第4部少字数、第5部小品、学生部 半紙、条幅 応募点数：一般部340点、学生部5,981点、計6,321点	自治体が主催する全国公募書道展は大変珍しい。来場者は5,000人を超えており、出品者等の規模から見ても特筆すべき展覧会である。 近年出品が減少傾向にあるため、全国の書道部のある高校や大学に公募規定を送付するなど、出品増につながる可能性がある工夫を重ねている。	【A】
書に関する作品の展示 【道風記念館】	全国的にも数少ない書専門の美術館である道風記念館において、収蔵品や他施設から借用したさまざまな書作品・書関係資料を展示する。	書に関する様々な展覧会を開催した。 (1) 特別展「琉球の書」 9月7日～10月8日 (2) 企画展「おののとうふう～中国の書と和様の書～」 7月21日～9月2日 「没後30年坪井正庵かな作品展」 10月12日～11月4日 (3) 館蔵品展「書体の変遷Ⅱ」 4月25日～7月16日 「書の魅力」 11月7日～2月3日 「近現代の書【明治・大正編】」 2月6日～4月21日 (4) 第37回道風の書臨書作品展 1月11日～20日	特別展「琉球の書」では、沖縄に残る書作品を展示した。沖縄の書を集めた展覧会は今までに類がなく、貴重な機会だったため、県外からの来館者を増やすことができた。	【A】
自分史作品の公募 【文化・生涯学習課（かすがい市民文化財団）】	全国から出版物の寄贈を受け入れるとともに、作品公募事業を実施し、優れた作品を冊子にまとめるなど自分史作品を収集する。	自分史活動の振興と春日井市のPRを図り、短編の自分史作品を公募し、作品集を製作した。 テーマ：「旅に遊び 旅に学ぶ」 公募数：154作品 作品集への掲載数：38作品 舞台系事業「演劇×自分史プロジェクト」とのコラボレーションも展開した。	・舞台系事業「演劇×自分史プロジェクト」第2弾公演『旅旅』に合わせて作品集を発刊し公演日にロビー販売を行った。 ・応募数増加を目的にメールでの受付を開始。普段応募が見られない県や若い世代から応募があった。	【A】

(4) 郷土文化の継承及び文化財保護意識の啓発（歴史や文化財への関心を高めるとともに郷土の文化財や伝統文化の保護、保存、活用を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
内津文化財祭 【文化財課】	文化財保護への理解を深めるとともに啓発を図るため、内々神社が所蔵する文化財の公開等を行う内津文化財祭を開催する。	豊かな内津の自然と内々神社の文化財を通して歴史を身近に感じ、文化財への愛護意識を育むため、内津文化財祭を開催した。 棒の手の披露、和力による伝統芸能演舞や、指定文化財「御舞台」と三十六歌仙額の公開、すみれ塚解説や茶会などを開催した。 開催日：5月6日（日） 会 場：内々神社 参加者：1,000人	JR春日井駅デジタルサイネージや市ホームページで、開催をPRする動画を掲載した。豊かな内津の自然と内々神社の文化財を通して歴史を身近に感じ、文化財への愛護意識を育むことができた。	【A】
郷土芸能出前講座 【文化財課】	地域の郷土芸能保存会を小学校に招き、模範演技の披露や体験・練習・発表を通して郷土芸能の保存・伝承について考える機会を提供する。	小学生を対象に郷土芸能保存団体が地域の郷土芸能を披露し、体験・練習・発表を通して、地域に伝わる郷土芸能の奥深さを理解し、郷土を愛する気持ちを高めるため、郷土芸能出前講座を実施した。 開催校：篠木小学校 開催日：11月30日（金）、12月7日（金）・14日（金） 参加児童数：3年生 109人 保存団体：出川町棒の手保存会 他3団体	篠木小学校の児童の保護者から、子どもが棒の手を習いたいと問合せがあり、地元の保存会を紹介した。事業の実施により後継者育成が図られた。	【A】

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度
文化芸術活動をしている人の割合	14.5%	20.0%	25.0%	2021年度に測定

施策の評価

実施状況（掲載事業数 12）		評 価
A 実施することができた	11	かすがい市民文化財団との連携により、文化芸術の鑑賞等の優れた取り組みが行われている。 特色ある文化を生かした各種事業も行われており、潤いある市民生活に向け一層の展開が期待される。
B 実施に向け検討している	0	
C 実施できなかった	1	

基本目標 3 学んだ成果を生かせる仕組みづくり

施策 3-1 地域の担い手となる人材の発掘及び育成

(1) 指導者となりうる人材の育成（地域における学習活動の活性化を図り、リーダー、ボランティアとなる人材の育成と人材の発掘を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
地域をささえる人づくり講座 【市民活動推進課】	区・町内会・自治会を中心とした地域活動が安定的かつ継続的に行われるよう、地域リーダーを育成する講座を実施する。	区・町内会・自治会を中心とした地域活動が安定的かつ継続的に行われるよう、地域リーダーを育成するため、地域をささえる人づくり講座を開催した。 実施日：2月16日（土） 参加人数：29名 講師：相山女学園大学人間関係学部人間関係学科 教授 谷口功	区・町内会・自治会を中心とした市民活動団体の相互の連携や活動の推進を図るとともに、地域活動を継続させるための解決策を講義やグループワークを通して学ぶ機会を提供した。	【A】
春日井安全アカデミー 【市民安全課】	地域の安全について自ら考えて行動し、提言できる地域のリーダーを育成する春日井安全アカデミーを開催する。	(1) 春日井安全アカデミー 市民として地域の安全を自分たちで考え、行動し安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、防災や防犯について学ぶ市民大学を開催した。 7月7日（土）入学式 100人入学 基礎教養課程 防災コース6講座、生活安全コース6講座 専門課程 防災コース6講座、生活安全コース6講座 12月1日（土）卒業式 94人卒業 (2) 安全・安心まちづくりボニター養成講座 安全アカデミー基礎教養課程（生活安全・防災コース）を修了後、専門課程を卒業した人のみを対象として養成講座を開講した。 開催期間：1月22日（火）～25日（金） 開催内容：上級救命講習、災害図上訓練（DIG）、避難所運営ゲーム（HUG）、防災講話 等を実施	受講者の防災、防犯についての情報・知識の向上が図られ、安全・安心まちづくりボニターの増加につながった。	【A】

ヘルスマイト養成講座 【健康増進課】	地域において、食を通して健康づくり活動を自主的に行う食生活改善推進員（ヘルスマイト）を養成する講座を実施する。	食生活改善推進員（ヘルスマイト）を養成する講座を実施した。 実施回数：全8回 養成人数：4人	ヘルスマイトの養成を図ることができた。	【A】
まなびや選科（サイト）への講師登録 【文化・生涯学習課】	自分の知識や技能を他者に教えたい人と学びたい人を結びつけるため、講師を希望する人をサイトに登録することを促進する。	講師登録件数：271人（うち新規登録29人）	インターネットを通じて情報提供するとともに、登録者を出前公民館講座の講師として派遣し、登録者に活動の機会を提供した。	【A】

(2) ボランティアの育成（地域における学習活動の活性化を図り、リーダー、ボランティアとなる人材の育成と人材の発掘を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
グルッポふじとうにおける地域住民サポーター事業 【ニュータウン創生課】	高蔵寺まなびと交流センターにおいて「地域住民サポーター」を募集し、地域住民との積極的な協働による施設運営を目指す。	地域住民サポーター登録数 47人 活動内容： ・花壇の手入れ、水やり ・花の植え替え（花壇コンクール（春日井市主催）に出場） ・グルッポ敷地内案内・・・グルッポ開所9時 ・駐車場誘導・・・イベント開催時 ・和菓子プロジェクト参画・・・H30夏頃 ・図書館書架整理・・・随時（H30.9以降） ・ハロウィンイベント参画（H30.9～10）	住民協働による施設運営を行うことができた。 地域住民の繋がりの場となった。	【A】
健康マイスター養成講座 【健康増進課】	健康に関する正しい知識を持つ「健康マイスター」の養成講座を開催し、修了者のうち、希望者はボランティアとして、市などが実施する健康づくり事業に参加する。	実施期間：9月5日（水）～1月30日（水） 会 場：総合保健医療センター、保健センター、落合公園 養成人数：30人 講 座 数：10回 講座内容：開講式/市の健康事情・生活習慣病予防について（講話）、 体力測定・体組成検査・唾液検査・頭と身体の健康～ 認知症予防運動（実技）、こころの健康講座・今後の活動について（講話） ほか	健康マイスターの養成を図ることができた。	【A】

人材育成セミナー 【市民活動支援センター】	ボランティアや市民活動で活躍する人材を育成するため、人材育成セミナーを実施する。	(1)市民ニーズに合った講座を開催し、市民活動を担う人材を育成する。 ・青少年ボランティアスクール 受講者延べ78人 ・オトナのボランティアスクール 受講者延べ79人 (2)市民活動団体のニーズに合った講座を開催し、団体を担う人材を育成する。 ・資金獲得セミナー 受講者 11人 ・組織力アップセミナー 受講者 33人 ・会計セミナー 受講者 8人 ・かすがい市民活動情報サイトサポート 利用者 6人	ボランティアの育成を図ることができた。	【A】
情報紙「ささえ愛」 【市民活動支援センター】	市民活動の情報を提供するため、市内で活躍している市民活動団体の紹介や団体が実施するイベント情報を掲載した情報誌を発行する。	市内の市民活動の情報と市民活動支援センターのPRを目的とした情報紙「ささえ愛」を発行した。 発行部数：2,000部 発行回数：4回 配布先：市内公共施設、市内小中学校、市内高等学校、中部大学 春日井市社会福祉協議会、愛知県、他市市民活動支援センター、春日井郵便局、大垣共立銀行春日井支店等	市民活動に関する情報を発信できた。	【A】

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度
生涯学習情報サイトに登録されている講師者数	232人	260人	290人	271人

施策の評価

実施状況（掲載事業数 8）		評価
A 実施することができた	8	現役で働いている世代、若い世代に学びの機会を提供することが、次代の生涯学習を担う人材の育成につながる。持続可能な生涯学習のまちづくりに向け、各種事業をさらに進められたい。
B 実施に向け検討している	0	
C 実施できなかった	0	

施策３－２ 学習成果を生かす機会の充実

(1) 学習成果を発表する機会の提供（日頃の学習成果を出し合うとともに、相互交流に繋がるよう、学習成果を発表する機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
公民館まつり 【公民館】	公民館で活動する団体が日頃の活動の成果を発表及び展示する機会として開催する。	各公民館において生涯学習活動団体の学習成果の発表の場として、公民館まつりを開催した。 (1) 中央公民館 発表会 2月17日、作品展 2月16日～21日 延べ参加者 1,572人 参加団体 29団体 (2) 知多公民館 発表会・作品展 3月9日、10日 延べ参加者 1,572人 参加団体 24団体 (3) 鷹来公民館 発表会 3月10日、作品展 3月12日～17日 延べ参加者 1,572人 参加団体 38団体 (4) 坂下公民館 発表会 3月3日、作品展 3月6日～10日 延べ参加者 1,572人 参加団体 33団体 (5) 東部公民館 発表会 6月16日、作品展 6月16日、17日 延べ参加者 1,572人 参加団体 24団体	生涯学習活動団体に対し活動の成果を発表する場を提供できた。	【A】
公民館まつり 【文化・生涯学習課】	公民館で活動する団体が日頃の活動の成果を発表及び展示する機会として開催している公民館まつりを、広く市民に紹介するため、全市的な規模で開催することを検討する。	公民館、ふれあいセンターで活動している生涯学習活動団体同士の交流を図ることを目的とした、芸能フェスティバル（仮称）について検討、調整を行った。	市内部で十分に合意形成することができなかった。 団体による活動の活性化に向け、さらに検討を進める。	【B】
レディヤン祭 【男女共同参画課】	レディヤンかすがいを活動拠点としている利用団体が団体活動の発表を通して交流と親睦を図るとともに、男女共同参画と青少年活動等を広く市民に啓発するため、レディヤン祭を開催する。	レディヤンかすがいを活動拠点としている青少年、女性及び勤労青少年の団体が、団体活動の発表を通して交流と親睦を図るとともに、広く市民に啓発するため、「レディヤン祭」を開催した。 開催日：12月8日（土） 開催場所：レディヤンかすがい 実施内容 （１）利用団体活動発表 合唱、体操、太極拳、踊り （２）体験コーナー、展示コーナー 来場者：延べ2,700人	団体活動に発表の場を提供し、交流と親睦を図ることができた。	【A】

ハーモニーフェスティバル 【青年の家】	ハーモニー春日井の利用団体が、楽器演奏などの練習成果の発表を通じて団体相互の親睦と地域住民等との交流を図るため、フェスティバルを開催する。	普段施設を利用している団体や個人が発表・交流の機会として演奏を行うとともに、地元の住民や一般の来場者も楽しめるよう、実行委員会による軽食販売などを実施。 出演団体数：17団体（登録団体14、その他3） 参加人数：506人 次年度は開催20回目となるのを記念し、複数の登録団体によるコラボ演奏を企画。	団体が練習の成果を発表する場を提供し、団体相互の親睦と地域住民等との交流を図ることができた。	【A】
------------------------	---	--	--	-----

(2) 市民自らが企画した講座の開催（市民が学習で得た知識や技術を生かせるよう市民が主体となった生涯学習の推進を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
講師発掘・登用事業 【文化・生涯学習課】	さまざまな知識や技術を持った市民を募集し、応募者自らが企画した講座の講師として活躍する場を提供する。また、登用した講師を市主催講座で積極的に活用する。	応募件数：38件 採用件数：20件 実施数：14講座 実施講座：俳句でも始めてみませんか。はじめの一步、旅先ふれあい基礎英会話講座 ほか 受講者数：314人	市民が知識・技術を生かし、講座を行った。	【A】
出前公民館講座 【文化・生涯学習課】	市民に身近な場所での学習機会の充実を図るため、講師発掘・登用事業で採用した講師経験者等を講師として、地域の集会施設で講座を開催する。	実施数：17講座 申請団体：地区社会福祉協議会、老人クラブ、子ども会 実施講座：笑って楽しく認知症予防、体力・気力の弱まりを防ぐ元気道場 ほか 受講者数：480人	市民が講師を務め、身近な場所での学習機会の充実を図ることができた。	【A】
かすがい市民大学 （仮称） 【文化・生涯学習課】	市民が講師、学生、運営者となり市民主導の学習機会の場となるかすがい市民大学（仮称）の創設について検討する。	実施なし	先進事例等の調査・研究を進める。	【C】

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度
公民館まつりの参加団体数	153団体	170団体	185団体	148団体

施策の評価

実施状況（掲載事業数 7）		評 価
A 実施することができた	5	市民が主体となって運営する「市民大学」には、知識・意欲・リーダーシップ等を兼ね備え、時間にも余裕のある人材が必要となる。非常に意義深い取り組みだが、運営を担うことができる人材の発掘が必須であり、先進事例の研究、情報収集を進めつつ慎重に計画されたい。
B 実施に向け検討している	1	
C 実施できなかった	1	

施策 3-3 学習成果を生かしたまちづくりの推進

(1) 防犯、防災など安全と安心に関する学習機会の充実（防犯・防災意識や交通安全意識の啓発、応急手当等に関する知識や技術を身につける学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
総合防災訓練 【市民安全課】	地震災害に対する参加機関との相互協力体制を確立するとともに、市民の防災意識を高めるため、防災訓練を実施する。	市・各防災関係機関・地域自主防災組織・地域住民等の地震災害に対する相互協力体制を確立し、市民の防災意識を高めることを目的とした、総合防災訓練を実施した。 日 時：8月26日（日）午前7時～10時40分 会 場：牛山公園 参加人数：約1,800人	参加機関との相互協力体制の確立と、参加住民の防災意識の高揚を図ることができた。	【A】

交通安全教室 【市民安全課】	交通安全意識を向上させ交通マナーを身に付けるため、幼児から高齢者まで、それぞれの発達段階やライフスタイルに合わせた体験・実践型の交通安全教室を実施する。	市内での交通事故減少を目指し、各年齢層に応じて、交通安全の基本となるルール、マナーの指導を行う交通安全教室を開催した。 実施回数： 小学校交通安全教室 16回 幼児交通安全教室 25回 高齢者交通安全教室 20回 地域等における交通安全教室 14回 合 計 75回	地域における交通安全教室では、より地域住民が参加しやすいように身近な公園で開催することとし、さらに防犯・防災に関するブースを追加し事業効果の向上を図った。親子を対象とした体験型自転車教室を実施した。	【A】
水防訓練 【河川排水課】	河川の決壊等の水害を想定し、水防技術の向上と水防体制の充実、市民の水防に対する意識を高めるため、水防訓練を実施する。	水防意識の向上を図るため、住民を交えた訓練を実施した。 日 時：6月3日（日） 場 所：不二小学校（グラウンド及び体育館） 内 容：水防工法訓練、救急救命体験、救難ボート乗船体験、冠水道路歩行体験、水難救助実演、傷病者支援体験 参加団体：不二小学校区住民、春日井市、春日井市消防本部・消防署、春日井市消防団、春日井警察署、国土交通省庄内川河川事務所、陸上自衛隊、春日井建設協会など 参加人員：340人（住民のみ）	魅せる訓練から体験する訓練へと変更し、地域住民に参加いただいた。	【A】

(2) 住民主体による地域課題の解決に向けた学習の支援（住民自らが地域課題に取り組み課題解決の担い手となるよう支援する。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
地域のやる気応援事業 【市民活動推進課】	地域課題の共有と解決策を検討するワークショップの開催を支援し、解決策の実施に係る費用の一部を区・町内会・自治会に対して補助する。	地域課題の共有と解決策を検討するワークショップを開催した。 実 施 日：1月27日（日） 対象地区：高蔵寺区 参加人数：19名	町内会役員を中心に地域活動団体が集まり、地域課題を共有するとともに、課題に対する解決策として新規事業の提案や現事業の見直しなどについて、講義やグループワークを通して意見を出し合うことができた。	【A】

生涯学習まちづくり 出前講座 【文化・生涯学習課】	市民等により構成される団体の依頼に応じ、市職員を地域の集会施設等に派遣し、行政情報や施策に関する講座を実施する。	実施数：4講座 申請団体：町内会自治会協議会、老人クラブ 実施講座：安全なまちづくりについて、夏の健康管理 ほか 受講者数：121人	市民に身近な場所で、市の行政情報や施策について学ぶ場を提供できた。	【A】
---------------------------------	--	---	-----------------------------------	-----

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度
学習活動を通じて身に付けた知識・技能を、地域でのまちづくりや地域の活性化のために生かしたい人の割合	7.2%	9.5%	12.0%	2021年度に測定

施策の評価

実施状況（掲載事業数 5）		評価
A 実施することができた	5	防災、安全など地域の課題解決に向けて各種事業が展開されている。生涯学習の手法により学びの場を提供するとともに、地域住民の相互交流を進めることが重要である。
B 実施に向け検討している	0	
C 実施できなかった	0	

基本目標 4 学びを豊かにする環境づくり

施策 4-1 身近な生涯学習関連施設の充実

(1) 市民が利用しやすい施設の運営（市民にとって利用しやすい施設の運営を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
施設予約システム 【文化・生涯学習課】	インターネットで施設の空き状況の検索や利用予約等ができる施設予約システムにより、利便性の向上を図る。	県内市町村が参加する、あいち電子自治体推進協議会で共同開発した、インターネットを利用してスポーツ施設や文化施設の予約ができるシステムを利用。 導入施設数：22施設	施設の窓口に行かなくても予約ができる環境を提供できた。	【A】
託児付き講座 【公民館・ふれあいセンター】	小さい子どもがいる人も講座に参加できるよう、託児付き講座の充実を図る。	(1)公民館 実 施 数：6講座 実施講座： ビーズアクセサリ講座、家族が喜ぶおうちごはん ほか 受講者数：303人（託児 40人） (2)ふれあいセンター 実 施 数：3講座 実施講座： ヨガで心身ともに健康づくり ほか 受講者数：268人（託児26人）	小さい子どもがいる人にも参加しやすい学習の機会を提供できた。	【A】
託児付き講座 【男女共同参画課】	小さい子どもがいる人も講座に参加できるよう、託児付き講座の充実を図る。	実 施 数： 22講座 実施講座： 女性のための法律講座～離婚の前に学ぶ後悔しないための法律講座～、知っておきたい！子どもの食とアレルギー、子どものしつけと親のココロの整え方～これだけは知っておきたい子育てのポイント～ ほか 受講者数：484人（託児106人）	託児付き講座のアンケートでは、託児付きは助かるといった意見があった。	【A】
社会教育事業連絡調整会議 【文化・生涯学習課】	各公民館、ふれあいセンター等の機能の充実を目指し、各施設における課題等を共有し、課題解決のための協議を行う。	各公民館、各ふれあいセンターの機能の充実のため、社会教育事業連絡調整会議を実施した。 実 施 数：13回	各施設の課題等の共有、課題解決のための協議等を行った。	【A】

(2) 施設の有効活用（市民や団体が学習活動を行う場を提供する。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
旧藤山台東小学校施設整備 【ニュータウン創生課】	旧藤山台東小学校施設を、図書館や児童館、地域包括支援センター、コミュニティカフェ等の機能を有する地域の拠点施設として整備する。	平成30年4月に高蔵寺まなびと交流センター（愛称：グルッポふじとう）として開所。 指定管理者である高蔵寺まちづくり株式会社による管理運営を開始。 当施設の敷地内に高蔵寺ニュータウンの魅力を紹介する案内板や当施設へのアクセス（方向や距離）を明確にするための案内看板を主要交差点などに設置。	複合機能を持つ多世代交流拠点施設として、当施設内において各世代の交流が生まれている。 学習室、多目的ルームなど、新たに学習活動を行う場が提供できた。 案内看板を設置したことにより、施設利用者に施設へのアクセスが明確となった。	【A】
東部市民センター施設活用 【東部市民センター】	東部市民センター図書室の移転後の活用について、音楽や軽運動ができる目的別のスペースを確保し、多様な機能を有する地域の拠点施設として整備する。	セミコンサート室、第1・2音楽室、第1・2軽運動室、多目的室を整備し、平成31年2月にリニューアルオープンした。 また、リニューアル記念として、講座を開催した。 実施数：5講座 実施講座：たのしく歌って！アンチエイジング、おとなのはじめてバレエ、ストレッチ&ダンス ほか 受講者数：123人	さらに幅広く利用できる環境を整備した。	【A】
学校体育施設の開放 【スポーツ課】	市民の健康増進や体力の向上を図るため、スポーツ活動の場として市内の小中学校体育館、中学校武道場及び県立学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で開放する。	市立小中学校及び県立学校の体育施設を、学校教育に支障のない範囲で地域住民等に開放することにより、市民の健康の保持増進・体力の向上を図った。 (1) 県立学校体育施設開放 開放校：県立春日井高等学校 始め8校の校庭 利用者数：339人 (2) 小中学校体育施設開放 開放校数：小中学校52校の体育館及び中学校15校の武道場 利用者数：303,456人	学校体育施設を活用し、市民の健康の保持増進・体力の向上を図った。	【A】

松原学習センター 【文化・生涯学習課】	地域住民の生涯学習活動やコミュニティ活動の推進を図るため、松原小学校の余裕教室を活用し、施設の貸館や生涯学習指導員による講座を実施します。	小学校の空き教室を整備し、松原中学校区の住民を対象に貸館、講座を実施した。 登録団体：8団体 利用件数：304件 利用者数：3,704人 講座数：25講座 実施講座：Word入門、俳句初級講座、石のはんこ作り ほか 受講者数：1,253人	地域住民に対し、生涯学習団体活動及び学びの場を提供できた。	【A】
小学校余裕教室の開放 【文化・生涯学習課】	市民の生涯学習活動の推進とコミュニティの育成に寄与するため、白山小学校、牛山小学校、石尾台小学校の余裕教室を地域の団体に開放します。	子育て支援団体や生涯学習活動団体に空き教室を開放した。 利用団体数：白山小学校：1団体 牛山小学校：1団体 石尾台小学校：3団体	学校施設を活用し、地域住民に生涯学習団体活動の場を提供できた。	【A】

(3) 施設の適切な維持管理（安全で快適な施設環境の充実に図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
計画的な修繕 【各施設】	施設の定期的な点検を行い、劣化状況等を把握するとともに、施設保全計画に基づき、計画的な修繕を実施します。	・中央公民館駐車場擁壁改修工事 ・中央公民館正面玄関スロープ手摺設置工事 ・鷹来公民館スロープ手摺設置工事 ・非常用発電設備取替工事 ほか	施設改修等を適切に実施し、生涯学習活動を行う環境を維持した。	【A】

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度
公民館及びふれあいセンターなどの利用者数	545,177人	548,500人	552,000人	504,982人

施策の評価

実施状況（掲載事業数 10）		評 価
A 実施することができた	10	市民が生涯学習活動を行うための環境整備、施設の管理運営等が適切に行われている。さらに市民のニーズに沿った学習環境の向上を期待する。
B 実施に向け検討している	0	
C 実施できなかった	0	

施策 4－2 自主的な学習活動への支援

(1) 図書館・図書室の充実（市民の自主的・自発的な学習活動を活性化する。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
図書資料の充実 【図書館】	利用者のニーズに応じた図書資料の充実に努めるとともに、地域性や利用者ニーズ等を配慮した排架に努め、利用しやすい環境を整えます。	市民のニーズ、社会情勢の変化に対応し、幅広い分野から資料選定を行い、図書館（室）の資料の継続的な充実を図った。 名 称 図書の蔵書数(冊) 春日井市図書館 596,858 高蔵寺まなびと交流センター図書館 72,537 味美ふれあいセンター始め9図書室 103,731 合 計 773,126	地域性のある特色を持った蔵書構成となるよう留意し、郷土や書道に関する資料については積極的に収集を行った。	【A】
ティーンズサービスの充実 【図書館】 ※事業名変更	中学生・高校生（10代）の利用促進を図るため、T C（ティーンズコーナー）通信を発行するとともに、中学生・高校生の意見を取り入れながらサービスの充実を図る。	T C（ティーンズコーナー）設置 T C（ティーンズコーナー）通信発行 年6回 グルッポふじとう図書館のティーンズコーナー設置に伴い、名称を統一するため、春日井市図書館のヤングアダルトコーナーをティーンズコーナーへ、Y A（ヤングアダルト）通信をT C（ティーンズコーナー）通信に変更した。	中学生・高校生の意見を取り入れながらサービスの充実を図った。	【A】

(2) ICTを活用した学習の推進（市民の自主的・自発的な学習活動を活性化する。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
eラーニングの普及・啓発 【文化・生涯学習課】	忙しくて学習活動に取り組めない市民の学習機会の拡大に向け、いつでもどこでも学ぶことができるeラーニングの普及・啓発を図る。	実施なし	市民ニーズの把握を行い、先進事例、情報機器等の情報を収集し、研究を進める。	【C】
遠隔生涯学習講座の導入 【文化・生涯学習課】	コンピューターネットワークを活用し、講座が開催される会場まで来ることが困難な方でも、別会場で同一の内容の講座が受けられる仕組みづくりを検討します。	実施なし	市民ニーズの把握を行い、先進事例、情報機器等の情報を収集し、研究を進める。	【C】

(3) 生涯学習活動団体への活動支援（地域の活力向上や市民の多様な学習活動の活性化を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
生涯学習活動団体への支援 【公民館・ふれあいセンター】	一定の要件を充たした生涯学習に関する事業及び活動を行う団体を認定することで、公民館等の使用料を減免するとともに、団体同士の交流を促進します。	生涯学習活動団体等 公民館 287団体 4,371人 ふれあいセンター 199団体 3,058人 青年の家 68団体 887人 市民活動支援センター 18団体 224人 レディヤンかすがい 145団体 5,217人 使用料減免のほか、公民館まつりでの活動見学会の実施やPRポスターの掲示、活動団体が講師を務める講座などを実施し、支援した。	公民館利用団体が講師となる入門講座「市民による市民のためのチャレンジ講座」に初めて取り組んだ結果、合計17名が団体加入を希望し、会員が増えた。	【A】

文化スポーツイベント補助金 【スポーツ課】	個人及び文化・スポーツ活動団体が、全国的規模で開催する公演の実施や全国的規模のスポーツ大会に出場した際等に、補助金を交付する。	(1)文化スポーツイベント補助金交付 (2)スポーツの振興及び競技力の向上を図るため、国際大会・全国大会に出場した選手に文化スポーツイベント補助金を交付した。 国際大会出場補助：個人 18件、団体 0件 全国大会出場補助：個人 191件、団体 16件 (3)全国大会開催補助 1件（第28回全国高等学校剣道選抜大会）	全国的規模で開催する大会の実施や全国的規模のスポーツ大会への出場等を支援した。	【A】
文化スポーツイベント補助金 【文化・生涯学習課】	個人及び文化・スポーツ活動団体が、全国的規模で開催する公演の実施や全国的規模のスポーツ大会に出場した際等に、補助金を交付する。	「文化スポーツイベント補助金交付要綱」に基づき補助金を交付 ・文化的事業の開催 0件 ・国内での文化事業参加 計3件 団体：1（転輪太鼓） 個人：2（愛工大名電高校吹奏楽部員）※春日井市在住者 ・国際文化交流事業 0件	全国的規模の音楽コンクールへの出場等を支援した。	【A】
春日井市体育協会運営費補助金 【スポーツ課】	体育協会の運営や、学区体育振興会を含む加盟団体の育成、各加盟団体が行うスポーツ教室等の助成を通して地域のスポーツ振興を図るため、体育協会に補助金を交付する。	体育協会の運営及び加盟40団体を育成し、各競技団体が行うスポーツ教室等を助成し、スポーツの振興を図った。 (1)市民体育大会総合開会式において体育協会表彰式を開催 優秀表彰 個人12人 団体1団体 一般表彰 個人4人 (2)各競技団体が行う事業 スポーツ教室、選手派遣及び育成事業、団体主催事業 他	体育協会への補助を通じて地域のスポーツ振興を図った。	【A】

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度
生涯学習活動団体の会員数	14,868人	15,000人	15,000人	13,757人

施策の評価

実施状況（掲載事業数 8）		評価
A 実施することができた	6	情報通信技術は目覚ましい速度で向上しており、eラーニング、遠隔生涯学習講座等には市民の学びの機会を広げるものとして期待する。だれもが気軽に、安価に学べる環境の整備に向け、研究を進められたい。
B 実施に向け検討している	0	
C 実施できなかった	2	

施策 4－3 関係機関とのネットワークの構築

(1) 大学や企業などとの連携強化（市民の学習ニーズに対応し、様々な学習活動を総合的・体系的に推進するため、高等教育機関、民間団体、企業、近隣自治体とのネットワークの強化を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施 状況
大学連携講座 【文化・生涯学習課】	市民の多様化する学習ニーズに応えるため、大学が持つ優れた人材と設備を活用し、高度な内容の講座を実施する。	名城大学や中部大学など近隣の大学と連携し、公共施設での講座だけではなく、大学施設を利用した実習講座や子ども向けの体験講座等を実施した。 実施数：18講座 実施講座：基礎から学ぶ栽培技術、サボテンの世界へようこそ、 沖ノ鳥島から考える日本の海と領土 ほか 受講者数：1,006人	近隣の大学との連携により、優れた人材と設備を活用し、高度な学びの機会を提供できた。	【A】

民間団体・企業との連携 【公民館・ふれあいセンター】	民間団体や企業が持つ知識やノウハウを活用するため、講座への講師として派遣を要請するなど連携を図る。	(1) 公民館 実施数：30講座 実施講座：中高年のためのエクササイズ、シニアのための持ち込みタブレット入門、緑のカーテン講座 ほか 受講者数：2,118人 連携先：名城大学、(公財)春日井スポーツ・ふれあい財団、NPO法人けやきフォーラム、J A ほか (2) ふれあいセンター 実施数：13講座 実施講座：今日から始めるロコモ予防、シェフが教える男の料理 ほか 受講者数：883人 連携先：(公財)春日井スポーツ・ふれあい財団、NPO法人けやきフォーラム、ホテルプラザ勝川 ほか	民間団体・企業との連携により、その知識やノウハウを活用し、多様な学びの機会を提供できた。	【A】
-------------------------------	---	--	--	-----

(2) 近隣自治体との連携強化（市民の学習ニーズに対応し、様々な学習活動を総合的・体系的に推進するため、高等教育機関、民間団体、企業、近隣自治体とのネットワークの強化を図る。）

事業名	事業概要	平成30年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	実施状況
愛日社会教育担当者連絡会 【文化・生涯学習課】	近隣市町との連携や情報共有を図るため、小牧市や瀬戸市を始め 11 市町で構成された愛日社会教育担当者連絡会に参加する。	5月、8月、1月に開催した愛日社会教育担当者連絡会に出席し、情報交換を行った。 8月：豊山町 11月：小牧市	連絡会に参加し、担当者の見識を深めるとともに情報交換を行うことができた。	【A】

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度
大学連携講座の講座数	17講座	20講座	24講座	17講座

施策の評価

実施状況（掲載事業数 3）		評価
A 実施することができた	3	様々な連携の取り組みが行われている。 近隣自治体との連携講座、民間の文化センター等との連携など、市民の視点に立った連携についてさらに研究・検討されたい。
B 実施に向け検討している	0	
C 実施できなかった	0	

◆推進計画全体（計画期間 1 年目）の評価

「一人ひとりの学びが地域の絆と未来を創り出すまちづくり」を目指し、各種事業は概ね良好に実施されている。
これまで生涯学習に取り組んでこなかった層に対する働きかけの強化など「第 2 次春日井市生涯学習推進計画」を推進するなかで、社会状況や市民ニーズの変化を的確に捉え、より効果的な事業展開に努められたい。